

みよし協働のまちづくり

自然の災害が多かった今年も災害への備えの必要を改めて考えさせられました。

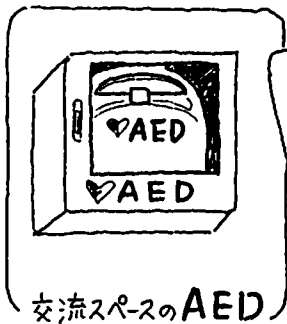
交流スペースに展示した災害コーナーにも

立ち寄り方が増えました。

報告

10月25日(木)尾三消防署の方から消火の指導、AEDでの救命指導を受けました。市民活動センターには見本の消火器とAED(交流スペース)が設置されています。

もしもの時に有効に使用するために年一回の訓練をしています。



お知らせ 1

「活動紹介用の大版(A3)チラシづくり」

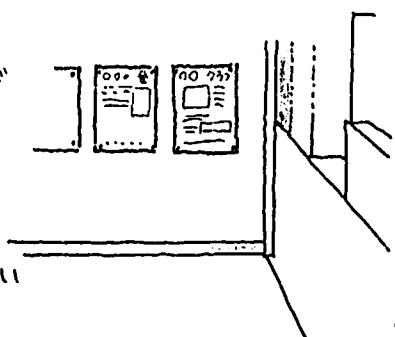
日時//平成30年12月11日(火)
13:30 ~ 15:00

- ・翌年1月12日(土)のイベントで市民活動団体の活動紹介を展示します。

<内容>

展示するA3チラシの作成講座を行います。

※市民だけでなく団体内でも活動が共有できます。



ぜひご参加下さい

お知らせ 2

「安心安全なまちづくり・啓発イベント」

日時//平成31年1月12日(土)
10:00 ~

～市民活動団体の紹介、日頃の備えが大事な防犯・防災の教室～

<内容>

- 防犯教室(豊田警察署の出張教室です)
 - 車のナンバー九ートの盗難防止対策
- 防災グッズ・パッキングを知ろう。
 - 試食あります
- 市民活動団体の活動紹介。
- 警察車両の展示や愛知県警察のシンボルマスコット「コノハけいぶ」との写真撮影。
- これ以外にもお楽しみを予定。



報告 1 「交流が始まるまちづくり

～障がい者福祉センターの跡地等の活用を一緒に考えよう～

まちづくりをいろいろな視点で考える「まちづくりワークショップ」を
9月26日(水)に行いました。

今回は障がいのある人との共生を学生の視点で考えようと
東海学園大学の学生さんに参加していただきました。
各グループに市の障がい者相談支援専門員の方々に
サポート役で入っていただきました

はじめに……

福祉課の清水さんから、
みよし市の障がい者の状況や障がい者の特性、
福祉計画についての説明を聞き、
その後、2つのワークを実施しました。

● この日に25人の学生さんが参加、3つのグループで話し合いました。

ワーク 1 障がい者の方と出合った場合 どう対応してきますか？ その理由は？

■ 3つのグループで考えた意見のまとめ

(出合った事ありますか?)……全員が出合っていました。ほとんどは乗り物の中で、次には近所、少数ですが
映画館の中という人もいました。

(どう対応しましたか?)……わからない、又は、近づいてきたら気が付かないフリをした。

その理由として、どうしたらいいかわからない不安だったという意見が出ました。

(どう対応したらいいですか?)……どんな人柄なのか、どうしたらよいか事前に判っているといい。

携帯電話でコミュニケーションを取れるといい。

すべての障がいに対応できるボタンを設置してもらい係員に対応してもらう

ワーク 2 相手がわかり受け入れることが進むにはどんな体験・交流がこの場を活かしてできると よいか？ 様々なカテゴリー(料理、音楽、アート等)に分けてみました。

■ 3つのグループで考えた意見のまとめ

● スポーツ // 体育祭、ボウリング、シッティングバレー、体操。

● アート // ぬり絵、切り絵、アートカフェで自由な体験

● 料理 // 自分で育てたものを調理、料理教室

● おしゃれ // 出張美容院

● カラオケ // 大きな声を出して歌う。

● その他 // 一般の人・地域の人との防災訓練、出張動物園、作って売るバザー

● 他にもたくさんアイデアが出ました。

ワークショップを終えて……参加者の感想。



地域の人、関心を寄せる人たちが、
障がいのある人たちとイベントの中で
交流できるのいいと思いました。



この跡地の利用として
障がい者も楽しいと思える場になしてほしい

